



重量 9.0kg



主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

<table border="1"> <tr> <td>訂正年月日</td> <td>訂正番</td> <td>訂正年月日</td> <td>訂正事項</td> <td>訂正者</td> <td>承認印</td> <td>承認印</td> <td>検印</td> <td>製図</td> <td rowspan="5"> 図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ T-6 NHU193N-18 </td> <td rowspan="5"> 図番 MGK-N-470 </td> </tr> <tr> <td>標準製作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平元</td> <td>山口</td> <td>松本</td> </tr> <tr> <td>試作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特注図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>材質</td> <td>数量</td> <td>縮尺</td> </tr> <tr> <td>検討図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>SS400</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ T-6 NHU193N-18	図番 MGK-N-470	標準製作図面					平元	山口	松本	試作図面								特注図面					材質	数量	縮尺	検討図面					SS400			株式会社 マキテック MK駐輪事業部	
	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図			図面名称 U字溝用(スチール) グレーチング 溝幅180用 細目 ノンスリップ T-6 NHU193N-18	図番 MGK-N-470																																
	標準製作図面					平元	山口	松本																																					
	試作図面																																												
	特注図面					材質	数量	縮尺																																					
検討図面					SS400																																								

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	NHU193N-18
	製品寸法	165x995x19
	主部材	FB-3×19
	断面係数	Z= 0.18 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-6	支点間距離	L = 180
	後輪一輪荷重	P = 24000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 180$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 240 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 24000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 48000$ $\omega = 6.25 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times L \times L / 8 \quad \text{より}$ $M = 25312.5$ $M = 25,313 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 25,312.5 / 180.000$ $\sigma_b = 140.63 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 180$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{140.63 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 180 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--